



親や友達を欺く生活に傷ついた女スパイ。自分が自分であろうとするには、国家からも命を狙われる。



これ実話なんですよ!?
 自分の一生、スパイを取るか、人を取るか!
 とても切なく、かつこい!
 ●小池栄子さん(タレント)
 「虹の戦士号」を実際に爆破した女性大尉に取材した作品だけに国家犯罪の駒、工作人員の緊張と苦悩を描いて迫りに満ちる
 ●田岡俊次さん(軍事評論家)



彼女の任務は命令に従うこと、従わなければ……

「本作戦のコードネームは「ヤヌス」。武器密輸船「アニタ・ハンス号」を爆破せよ——。」指令を受けたのは、DGSE(フランス対外治安総局)に所属する、ジョルジュ、リザをはじめとする秘密諜報員5人。作戦を指揮するジョルジュと、この計画で唯一の女性諜報員であり、情報収集のためターゲットの邸宅にベビーシッターとして潜入していたリザは、10日後のモロッコでのミッションの遂行のため、夫婦を装いカサブランカ入りする。しかし、CIAがこの計画を嗅ぎつけ、国家間の駆け引きに巻き込まれる彼ら……。

不安に駆られるリザは、ジョルジュに打ち明ける——「任務はやり遂げる、でも今回は最後よ。」普通の生活に戻りたいと願う彼女に、巨大な力が畏を仕掛けていたのだ。誰がリザを陥れたのか? 真実を突き止めようと動き出したジョルジュも狙われる身となる。果たして彼らはこの運命に立ち向かえるのか——。

ミニ知識:「虹の戦士号」爆破事件

1985年7月、ニュージーランドの海域でフランスの核実験に抗議していたグリーンピースの船「虹の戦士(レインボー・ウォリアー)号」が爆破され、沈没。犯人としてDGSEの男女のスパイが逮捕された。その女性スパイがドミニク・プリウール大尉(当時)だった。核実験を巡り確執のあったフランスとニュージーランドの関係は泥沼に……。逮捕されたふたりは、アオ島に送られ、プリウール大尉は88年、高齢妊娠を理由にパリに戻された。今なお、健在である。

モニカ・ベルッチが最も美しいスパイを演じる!

モデルから女優に転身、そしてフランスから今やハリウッドに活躍の場を広げたイタリアの至宝、モニカ・ベルッチ。カルティエやDolce & Gabbanaのイメージキャラクターを務め、美貌を武器にした「マレーナ」や『マトリックスレボリューションズ』で演じたようなグラマーな役柄が多かったモニカ。今回演じるのは、自身が「リスクのある挑戦だった」と語る、「女スパイ」だ。知的で内に秘めた強さを持つリザの役は、モニカの男性的な魅力を新たに引き出している。



モニカ演じるリザのモデルとなったのは、実在する女スパイ、ドミニク・プリウールだ。1985年世界を震撼させた「虹の戦士号」爆破事件。その当事者であるプリウールの証言を基にし、真実のスパイを描いたのが本作である。



リザの仲間ジョルジュを演じるのは、『オーシャンズ12』『アレックス』のヴァンサン・カッセル。彼はトレーニングを積み、スカイダイビングやアクションシーンを自らこなしている。そして、衣装協力には、カルティエ、シャネル、イヴ・サンローラン、ルイ・ヴィトン等が名を連ね、クオリティの高い「スパイ ファッション」を作り上げた。

原簿・脚本:アレクシッド・シモン/シモン・デュロワ、原簿監修:ジャン・ピエール・ソワール 出演:モニカ・ベルッチ、ヴァンサン・カッセル、アンドレ・デュソリエ、シャルル・ベルリン、客演:カトリーヌ・ド・ヴィルヌエフ、ジャン・ローラン、ラルフ・ローレン、ジャン・ピエール・ドレックス、ルイ・ヴィトン、トッズ、サルヴァトーレ・フェラガモ、ランビエリ、カネレ、2004年、フランス映画/カラー/スコープサイズ、ドルビーデジタル/上映時間:110分/オリジナルサウンドトラック 1.81 発売(ビクターエンタテインメント)/提供:コムストック、ポニーキャニオン、レントラックジャパン/配給:コムストック

www.spybound.jp

05.1/29 [±] 奴らが追ってくる!!